

製品名: IL-2R γ ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab12549**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	40kDa

抗原情報

遺伝子名	IL2RG
別名	IL2RG; Cytokine receptor common subunit gamma; Interleukin-2 receptor subunit gamma; IL-2 receptor subunit gamma; IL-2R subunit gamma; IL-2RG; gammaC; p64; CD132
遺伝子 ID	3561.0
SwissProt ID	P31785
免疫原	抗血清はヒト IL2RG の内部領域由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 101-150

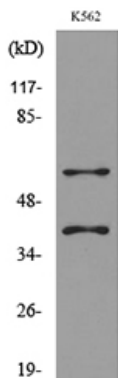
背景

この遺伝子によってコードされるタンパク質は、インターロイキン-2、-4、-7、-21を含む多くのインターロイキン受容体の重要なシグナル伝達成分であり、共通ガンマ鎖と呼ばれています。この遺伝子の変異は、X連鎖重症複合免疫不全症 (XSCID) だけでなく、より軽度の免疫不全疾患であるX連鎖複合免疫不全症 (XCID) も引き起こします。[RefSeq 提供、2010年3月]、疾患: IL2RG の欠陥は、X連鎖複合免疫不全症 (XCID) の原因です[MIM:312863]。XCID は、X連鎖免疫不全症の軽症型であり、細胞性免疫および体液性免疫の欠損の程度はXSCIDよりも軽度です。疾患: IL2RG の欠陥は、X連鎖重症複合免疫不全症 (XSCID) [MIM:300400]の原因です。これは、スイス型無ガンマグロブリン血症とも呼ばれます。SCID は、遺伝的および臨床的に異質な希少先天性疾患群であり、体液性免疫と細胞性免疫の両方の障害、白血球減少症、および抗体レベルの低下または欠如を特徴とします。SCID 患者は、乳児期に日和見菌による反復性かつ持続的な感染症を呈します。SCID の全型に共通する特徴は、T細胞分化の欠陥によりT細胞を介した細胞性免疫が欠如していることである。ドメイン: ボックス1モチーフは、JAK との相互作用および / または活性化に必要である。ドメイン: WSXWS モチーフは、適切なタンパク質フォールディング、ひいては効率的な細胞内輸送および細胞表面受容体への結合に必要であると考えられる。機能: 様々なインターロイキン受容体の共通サブユニット。オンライン情報: X連鎖SCID変異データベース、類似性: I型サイトカイン受容体ファミリーに属する。タイプ5サブファミリー。類似性: 1つのフィブロネクチンIII型ドメインを含む。サブユニット: ガンマ鎖は、IL2、IL4、IL7、IL21、そしておそらくIL13受容体にも共通である。インターロイキン刺激によりSHBと相互作用する。HTLV-1アクセサリタンパク質p12Iと相互作用する。、

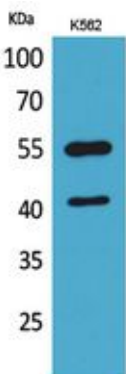
研究分野

サイトカイン-サイトカイン受容体相互作用;エンドサイトーシス;Jak_STAT;原発性免疫不全;

画像データ



IL2RG 抗体を使用した K562 細胞の溶解物のウェスタン ブロット分析。



IL-2R γ ポリクローナル抗体を用いた K562 細胞のウェスタンブロット分析。二次抗体は 1:20000 に希釈された。

